



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

平成30年1月31日

上場会社名 アステラス製薬株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4503 URL <https://www.astellas.com/ja>
 代表者（役職名） 代表取締役社長CEO （氏名） 畑中 好彦
 問合せ先責任者（役職名） 広報部長 （氏名） 臼井 政明 (TEL) 03(3244)3201
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有 (証券アナリスト・機関投資家・報道機関向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 税引前利益 | | 四半期純利益 | | 親会社の所有者に帰属する四半期純利益 | | 四半期包括利益合計額 | |
|-------------|-----------|------|---------|-------|---------|-------|---------|-------|--------------------|-------|------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 30年3月期第3四半期 | 999,443 | △0.6 | 179,751 | △22.3 | 184,605 | △24.3 | 142,614 | △20.2 | 142,614 | △20.2 | 237,115 | 38.7 |
| 29年3月期第3四半期 | 1,005,587 | △5.6 | 231,289 | 7.3 | 243,898 | 6.8 | 178,800 | 8.7 | 178,800 | 8.7 | 170,919 | 2.6 |

| | 基本的1株当たり 四半期純利益 | 希薄化後1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|--------------------|---------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 30年3月期第3四半期 | 69.84 | 69.76 |
| 29年3月期第3四半期 | 84.38 | 84.26 |

(2) 連結財政状態

| | 資産合計 | 資本合計 | 親会社の所有者に 帰属する持分 | 親会社所有者 帰属持分比率 |
|-------------|-----------|-----------|--------------------|------------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | % |
| 30年3月期第3四半期 | 1,933,831 | 1,366,864 | 1,366,864 | 70.7 |
| 29年3月期 | 1,814,072 | 1,271,810 | 1,271,810 | 70.1 |

2. 配当の状況

| | 年 間 配 当 金 | | | | |
|------------|-----------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期 末 | 合 計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 29年3月期 | — | 17.00 | — | 17.00 | 34.00 |
| 30年3月期 | — | 18.00 | — | | |
| 30年3月期（予想） | | | | 18.00 | 36.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 税引前利益 | | 当期純利益 | | 親会社の所有者に 帰属する当期純利益 | | 基本的1株当たり 当期純利益 |
|-----|-----------|------|---------|-------|---------|-------|---------|-------|-----------------------|-------|-------------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通 期 | 1,297,000 | △1.1 | 222,000 | △14.9 | 228,000 | △19.1 | 180,000 | △17.7 | 180,000 | △17.7 | 88.44 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

連結業績予想の「基本的1株当たり当期純利益」は、平成29年7月28日開催の取締役会決議に基づき実施した自己株式の取得を反映しています。

コアベースでの連結業績予想は次のとおりです。

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | コア営業利益 | | コア当期純利益 | | 基本的1株当たり コア当期純利益 |
|-----|-----------|------|---------|------|---------|------|---------------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通 期 | 1,297,000 | △1.1 | 258,000 | △6.0 | 201,000 | △5.8 | 98.75 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社は、会社の経常的な収益性を示す指標としてコアベースの業績を開示しています。コアベースの業績の定義につきましては、添付資料P.2に記載しています。

連結業績予想の「基本的1株当たりコア当期純利益」は、平成29年7月28日開催の取締役会決議に基づき実施した自己株式の取得を反映しています。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

| | | | |
|-------------|----------------|-------------|----------------|
| 30年3月期第3四半期 | 2,068,823,175株 | 29年3月期 | 2,153,823,175株 |
| 30年3月期第3四半期 | 53,159,159株 | 29年3月期 | 88,817,886株 |
| 30年3月期第3四半期 | 2,041,918,744株 | 29年3月期第3四半期 | 2,118,982,638株 |

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

上記の予想及び添付資料に含まれる将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確定な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料P.9をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法）

四半期決算短信の開示とあわせて四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会資料を開示しています。

また、平成30年1月31日（水）に証券アナリスト・機関投資家・報道機関向けにカンファレンス・コールを開催する予定です。このカンファレンス・コールの音声については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

| | |
|---------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 7 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 9 |
| 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 | 10 |
| (1) 要約四半期連結純損益計算書 | 10 |
| (2) 要約四半期連結包括利益計算書 | 11 |
| (3) 要約四半期連結財政状態計算書 | 12 |
| (4) 要約四半期連結持分変動計算書 | 14 |
| (5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 16 |
| (6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 17 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 17 |
| (企業結合) | 17 |
| (重要な後発事象) | 19 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 当期の概況

<連結業績（コアベース^(注)）>

当第3四半期累計期間（2017年4月1日から12月31日）の連結業績（コアベース）は下表の通りです。売上高、コア営業利益、コア四半期純利益はいずれも減少しました。

[連結業績（コアベース）]

(単位：百万円)

| | 前第3四半期累計 (2017年3月期) | 当第3四半期累計 (2018年3月期) | 増減額 (増減率) |
|----------------|------------------------|------------------------|--------------------|
| 売上高 | 1,005,587 | 999,443 | △6,144 (△0.6%) |
| 売上原価 | 250,763 | 238,925 | △11,838 (△4.7%) |
| 販売費及び 一般管理費 | 336,666 | 350,015 | +13,349 (+4.0%) |
| 研究開発費 | 148,289 | 161,623 | +13,334 (+9.0%) |
| 無形資産償却費 | 26,743 | 26,995 | +252 (+0.9%) |
| 持分法による損益 | △1,289 | △1,427 | △137 (-) |
| コア営業利益 | 241,837 | 220,459 | △21,378 (△8.8%) |
| コア四半期純利益 | 177,189 | 167,877 | △9,312 (△5.3%) |

(注) 当社は、会社の経常的な収益性を示す指標としてコアベースの業績を開示しています。当該コアベースの業績は、フルベースの業績から当社が定める非経常的な項目を調整項目として除外したものです。調整項目には、減損損失、有形固定資産売却損益、リストラクチャリング費用、災害による損失、訴訟等による多額の賠償又は和解費用等のほか、会社が除外すべきと判断する項目が含まれます。なお、フルベースの実績からコアベースの実績への調整表は、決算補足資料の23ページに記載しています。

【売上高】

連結売上高は9,994億円（前年同期比0.6%減）となりました。

- ・ 2016年4月に行われたグローバル皮膚科事業の譲渡及び2017年4月に行われた日本における長期収載品の譲渡等の影響により、減収となりました。
- ・ 前立腺がん治療剤XTANDI/イクスタンジ、過活動膀胱（OAB）治療剤ベタニス/ミラベトリック/ベットミガ、免疫抑制剤プログラフ等、主力品の売上は増加しました。

【コア営業利益/コア四半期純利益】

- ・ 売上総利益は7,605億円（同0.8%増）となりました。なお、売上原価率は、グループ間取引における未実現利益消去に伴う為替の影響等を受けた一方で、製品構成の変化等により、前年同期に比べ1.0ポイント低下し、23.9%となりました。
- ・ 販売費及び一般管理費は、経費の効率的な使用やリソース配分の最適化を推進する一方で、為替による影響等もあり3,500億円（同4.0%増）となりました。
- ・ 研究開発費は、後期開発プロジェクトの進展や新たな領域・技術への投資拡充に伴う費用の増加等により、1,616億円（同9.0%増）となりました。対売上高研究開発費比率は、前年同期に比べ1.4ポイント上昇し、16.2%となりました。
- ・ 無形資産償却費は、270億円（同0.9%増）となりました。

以上の結果、コア営業利益は2,205億円（同8.8%減）、コア四半期純利益は1,679億円（同5.3%減）となりました。

【為替の業績への影響】

当第3四半期累計期間の為替レートは、下表の通りです。これらの結果、前第3四半期累計期間の為替レートを適用した場合と比べ、売上高においては401億円の増収、コア営業利益においては95億円の増益の影響がありました。

| 期中平均レート | 前第3四半期累計 | 当第3四半期累計 | 変動 |
|---------|----------|----------|------|
| 米ドル/円 | 107 | 112 | 5円安 |
| ユーロ/円 | 118 | 129 | 11円安 |

| 期首・期末の変動 | 前第3四半期累計 | 当第3四半期累計 |
|----------|----------|----------|
| 米ドル/円 | 4円安 | 1円安 |
| ユーロ/円 | 5円高 | 15円安 |

<連結業績（フルベース）>

当第3四半期累計期間の連結業績（フルベース）は下表の通りです。売上高、営業利益、税引前四半期利益、四半期純利益はいずれも減少しました。

フルベースの業績には、コアベースの業績で除外される「その他の収益」、「その他の費用」（減損損失、為替差損等）、売却可能金融資産の売却益（「金融収益」に計上）等が含まれます。

第1四半期会計期間において、ガニメド ファーマシューティカルズ社に係る開発プロジェクトの計画見直しにより「その他の収益」及び減損損失を計上したほか、第2四半期会計期間において、米国の子会社アジェンシス社の研究活動終了を決定したことに伴い、減損損失等を計上しました。このほか、当第3四半期累計期間において為替差損を計上したこと等から、「その他の収益」は104億円（前年同期：66億円）、「その他の費用」は512億円（前年同期：171億円）となりました。また、売却可能金融資産の売却益は47億円（前年同期：127億円）でした。

[連結業績（フルベース）]

（単位：百万円）

| | 前第3四半期累計 (2017年3月期) | 当第3四半期累計 (2018年3月期) | 増減額 (増減率) |
|-----------------------|------------------------|------------------------|---------------------|
| 売上高 | 1,005,587 | 999,443 | △6,144 (△0.6%) |
| 営業利益 | 231,289 | 179,751 | △51,538 (△22.3%) |
| 税引前四半期利益 | 243,898 | 184,605 | △59,293 (△24.3%) |
| 四半期純利益 | 178,800 | 142,614 | △36,185 (△20.2%) |
| 基本的1株当たり 四半期純利益（円） | 84.38 | 69.84 | △14.54 (△17.2%) |
| 四半期包括利益 | 170,919 | 237,115 | +66,196 (+38.7%) |

【主要製品の売上高】

(主要3領域の売上高)

(単位:億円)

| | 前第3四半期累計 (2017年3月期) | 当第3四半期累計 (2018年3月期) | 増減率 |
|------------------------|------------------------|------------------------|--------|
| がん領域フランチャイズ | 2,323 | 2,608 | +12.3% |
| XTANDI/イクスタンジ | 1,892 | 2,199 | +16.2% |
| 泌尿器OABフランチャイズ | 1,609 | 1,716 | +6.6% |
| ベシケア | 893 | 785 | △12.1% |
| ベタニス/ミラベトリック /ベットミガ | 716 | 931 | +30.0% |
| 移植フランチャイズ | 1,422 | 1,502 | +5.6% |

◇ がん領域フランチャイズ

- ・ XTANDI/イクスタンジの売上高は2,199億円(前年同期比16.2%増)となりました。日本、米州、EMEA*及びアジア・オセアニアの全ての地域で売上が順調に拡大しました。

◇ 泌尿器OABフランチャイズ

- ・ ベタニス/ミラベトリック/ベットミガの売上高は931億円(同30.0%増)となりました。日本、米州、EMEA及びアジア・オセアニアの全ての地域で売上が増加しました。一方、ベシケアの売上高は785億円(同12.1%減)となりました。

◇ 移植フランチャイズ

- ・ プログラフの売上高は1,502億円(同5.6%増)となりました。日本、EMEA及びアジア・オセアニアで引き続き伸長しました。

◇ その他の新製品・主要製品の状況

- ・ 日本市場では、消炎鎮痛剤セレコックス、成人気管支喘息治療剤シムビコート、2型糖尿病治療剤スーグラ、成人関節リウマチ治療剤シムジア等が引き続き成長しました。また、2016年4月に高コレステロール血症治療剤レパーサ、2017年3月に便秘型過敏性腸症候群治療剤リンゼスを新発売し、市場への着実な浸透を図っています。
- ・ 米州では、アゾール系抗真菌剤クレセンバの売上が拡大しました。

*EMEA: 欧州、中東及びアフリカ

【地域別売上高の状況】

地域別の売上高は下表の通りです。日本と EMEA は減少、米州とアジア・オセアニアは増加しました。

このうち日本市場は、2017年4月に行われた長期収載品16製品の譲渡及び2017年6月に高血圧治療剤ミカルデイスの後発医薬品が発売された影響等により減収となりました。また、EMEA は2016年4月に行われたグローバル皮膚科事業譲渡の影響により減収となりましたが、その影響を除くと増収となりました。

| | 前第3四半期累計 (2017年3月期) | 当第3四半期累計 (2018年3月期) | 増減率 |
|----------------|------------------------|------------------------|--------|
| 日本 (億円) | 3,801 | 3,373 | △11.3% |
| うち国内市場売上高 | 3,582 | 3,090 | △13.7% |
| 米州 (百万米ドル) | 2,889 | 2,926 | +1.3% |
| EMEA (百万ユーロ) | 2,143 | 2,023 | △5.6% |
| アジア・オセアニア (億円) | 645 | 753 | +16.8% |

※地域別売上高については売上元会社の所在地に基づき集計しています。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、資本及び負債の状況

当第3四半期末(2017年12月31日時点)の連結財政状態計算書の概要及び前期末からの主な変動は以下の通りです。

【資産】

当第3四半期末における総資産は1兆9,338億円(前期末比1,198億円増)となりました。

<非流動資産>当第3四半期末:1兆86億円(同712億円増)

- ・のれんは1,925億円(同240億円増)、その他の無形資産は4,280億円(同406億円増)となりました。第1四半期会計期間においてオジェダ社の買収を完了したことに伴い、のれんとその他の無形資産が増加しました。一方で、第1四半期会計期間においてガニメドファーマシューティカルズ社に係るその他の無形資産の減損損失を計上したほか、第2四半期会計期間においてアジェンシス社の研究活動終了を決定したことに伴い、有形固定資産やのれん等の減損損失を計上しました。

<流動資産>当第3四半期末:9,252億円(同485億円増)

- ・現金及び現金同等物は3,317億円(同92億円減)となりました。

【資本】

資本合計は、1兆3,669億円(同951億円増)となり、親会社所有者帰属持分比率は70.7%となりました。

- ・四半期純利益1,426億円を計上した一方で、剰余金の配当716億円に加え、自己株式の取得707億円を実施しました。
- ・在外営業活動体の換算差額が資本の増加方向に863億円変動しました。
- ・なお、2017年5月31日に自己株式の消却1,322億円(8,500万株)を実施しました。

【負債】

負債の合計は、5,670億円(同247億円増)となりました。

<非流動負債>当第3四半期末:1,713億円(同289億円増)

- ・第1四半期会計期間におけるオジェダ社の買収完了等に伴い、繰延税金負債が390億円(同205億円増)となりました。

<流動負債>当第3四半期末:3,956億円(同42億円減)

②キャッシュ・フローの状況

【営業活動によるキャッシュ・フロー】

当第3四半期累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、2,153億円（前年同期比289億円増）となりました。

- ・ 法人所得税の支払額が512億円となりました。

【投資活動によるキャッシュ・フロー】

当第3四半期累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、△938億円（同230億円支出増）となりました。

- ・ オジェダ社買収に伴う子会社株式の取得による支出616億円等がありました。

【財務活動によるキャッシュ・フロー】

当第3四半期累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、△1,431億円（同229億円支出増）となりました。

- ・ 配当金の支払額は716億円（同15億円増）となったほか、自己株式の取得707億円を実施しました。

以上の結果、当第3四半期末における現金及び現金同等物の残高は、3,317億円（前期末比92億円減）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、当期の連結業績予想について、コアベース及びフルベースでの業績予想を開示しています。

通期連結業績予想は以下の通りです。2017年10月に公表しました業績予想から大きな変動が見込まれないため、これを据え置き修正していません。

[通期連結業績予想 (コアベース)]

(単位：百万円)

| | 2017年3月期 通期実績 | 2018年3月期 通期予想 | 増減額 (増減率) |
|---------|------------------|------------------|--------------------|
| 売上高 | 1,311,665 | 1,297,000 | △14,665 (△1.1%) |
| 研究開発費 | 208,129 | 218,000 | +9,871 (+4.7%) |
| コア営業利益 | 274,554 | 258,000 | △16,554 (△6.0%) |
| コア当期純利益 | 213,343 | 201,000 | △12,343 (△5.8%) |

[通期連結業績予想 (フルベース)]

(単位：百万円)

| | 2017年3月期 通期実績 | 2018年3月期 通期予想 | 増減額 (増減率) |
|-----------------------|------------------|------------------|---------------------|
| 売上高 | 1,311,665 | 1,297,000 | △14,665 (△1.1%) |
| 営業利益 | 260,830 | 222,000 | △38,830 (△14.9%) |
| 税引前利益 | 281,769 | 228,000 | △53,769 (△19.1%) |
| 当期純利益 | 218,701 | 180,000 | △38,701 (△17.7%) |
| 基本的1株当たり 当期純利益 (円) | 103.69 | 88.44 | △15.25 (△14.7%) |

[通期の想定為替レート]

2018年3月期 : 111円/米ドル、128円/ユーロ

(第3四半期以降の想定為替レート：110円/米ドル、130円/ユーロ)

2017年3月期 (実績) : 108円/米ドル、119円/ユーロ

(注) 基本的1株当たりコア当期純利益及び基本的1株当たり当期純利益の予想は、2017年7月31日から10月31日までに実施した自己株式の取得を反映していません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結純損益計算書

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日) |
|--------------------|--|--|
| 売上高 | 1,005,587 | 999,443 |
| 売上原価 | △250,763 | △238,925 |
| 売上総利益 | 754,824 | 760,519 |
| 販売費及び一般管理費 | △336,666 | △350,015 |
| 研究開発費 | △148,289 | △161,623 |
| 無形資産償却費 | △26,743 | △26,995 |
| 持分法による損益 | △1,289 | △1,427 |
| その他の収益 | 6,580 | 10,448 |
| その他の費用 | △17,128 | △51,155 |
| 営業利益 | 231,289 | 179,751 |
| 金融収益 | 14,035 | 6,052 |
| 金融費用 | △1,426 | △1,198 |
| 税引前四半期利益 | 243,898 | 184,605 |
| 法人所得税 | △65,098 | △41,991 |
| 四半期純利益 | 178,800 | 142,614 |
| 四半期純利益の帰属 | | |
| 親会社の所有者 | 178,800 | 142,614 |
| 1株当たり四半期純利益 | | |
| 基本的1株当たり四半期純利益(円) | 84.38 | 69.84 |
| 希薄化後1株当たり四半期純利益(円) | 84.26 | 69.76 |

(2) 要約四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日) |
|-------------------------|--|--|
| 四半期純利益 | 178,800 | 142,614 |
| その他の包括利益 | | |
| 純損益に振り替えられることのない項目 | | |
| 確定給付制度に係る再測定 | △404 | 2,780 |
| 小計 | △404 | 2,780 |
| 純損益にその後に振り替えられる可能性のある項目 | | |
| 在外営業活動体の換算差額 | 1,985 | 86,307 |
| 売却可能金融資産の公正価値の変動 | △9,461 | 5,414 |
| 小計 | △7,476 | 91,721 |
| 税引後その他の包括利益合計 | △7,881 | 94,501 |
| 四半期包括利益合計 | 170,919 | 237,115 |
| 四半期包括利益の帰属 | | |
| 親会社の所有者 | 170,919 | 237,115 |

(3) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2017年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2017年12月31日) |
|-----------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産 | | |
| 非流動資産 | | |
| 有形固定資産 | 191,115 | 184,332 |
| のれん | 168,521 | 192,547 |
| その他の無形資産 | 387,419 | 428,018 |
| 売上債権及びその他の債権 | 22,263 | 23,855 |
| 持分法で会計処理されている投資 | 2,988 | 3,289 |
| 繰延税金資産 | 90,349 | 96,273 |
| その他の金融資産 | 61,597 | 70,517 |
| その他の非流動資産 | 13,154 | 9,800 |
| 非流動資産合計 | 937,407 | 1,008,631 |
| 流動資産 | | |
| 棚卸資産 | 182,537 | 146,261 |
| 売上債権及びその他の債権 | 309,817 | 347,940 |
| 未収法人所得税 | 10,986 | 10,714 |
| その他の金融資産 | 13,554 | 61,549 |
| その他の流動資産 | 18,849 | 15,667 |
| 現金及び現金同等物 | 340,923 | 331,683 |
| 小計 | 876,665 | 913,813 |
| 売却目的で保有する資産 | — | 11,387 |
| 流動資産合計 | 876,665 | 925,200 |
| 資産合計 | 1,814,072 | 1,933,831 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2017年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2017年12月31日) |
|------------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資本及び負債 | | |
| 資本 | | |
| 資本金 | 103,001 | 103,001 |
| 資本剰余金 | 177,091 | 177,217 |
| 自己株式 | △138,207 | △76,045 |
| 利益剰余金 | 1,013,923 | 955,231 |
| その他の資本の構成要素 | 116,002 | 207,460 |
| 親会社の所有者に帰属する持分合計 | 1,271,810 | 1,366,864 |
| 資本合計 | 1,271,810 | 1,366,864 |
| 負債 | | |
| 非流動負債 | | |
| 仕入債務及びその他の債務 | 440 | 3,761 |
| 繰延税金負債 | 18,514 | 39,040 |
| 退職給付に係る負債 | 36,614 | 36,965 |
| 引当金 | 4,921 | 4,610 |
| その他の金融負債 | 28,389 | 35,695 |
| その他の非流動負債 | 53,528 | 51,269 |
| 非流動負債合計 | 142,406 | 171,339 |
| 流動負債 | | |
| 仕入債務及びその他の債務 | 182,826 | 137,899 |
| 未払法人所得税 | 10,900 | 17,319 |
| 引当金 | 96,589 | 120,421 |
| その他の金融負債 | 2,992 | 6,814 |
| その他の流動負債 | 106,548 | 113,174 |
| 流動負債合計 | 399,856 | 395,628 |
| 負債合計 | 542,262 | 566,967 |
| 資本及び負債合計 | 1,814,072 | 1,933,831 |

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

(単位：百万円)

| | 親会社の所有者に帰属する持分 | | | | | |
|---------------------|----------------|---------|----------|----------|-------------|--------------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 自己株式 | 利益剰余金 | その他の資本の構成要素 | |
| | | | | | 新株予約権 | 在外営業活動体の換算差額 |
| 2016年4月1日残高 | 103,001 | 176,903 | △157,111 | 973,054 | 2,126 | 132,134 |
| 四半期包括利益 | | | | | | |
| 四半期純利益 | — | — | — | 178,800 | — | — |
| その他の包括利益 | — | — | — | — | — | 1,985 |
| 四半期包括利益合計 | — | — | — | 178,800 | — | 1,985 |
| 資本で直接認識された所有者との取引 | | | | | | |
| 自己株式の取得 | — | — | △46,665 | — | — | — |
| 自己株式の処分 | — | △78 | 420 | △190 | △151 | — |
| 自己株式の消却 | — | — | 110,219 | △110,219 | — | — |
| 配当金 | — | — | — | △70,119 | — | — |
| 株式報酬取引 | — | 207 | — | — | — | — |
| 振替 | — | — | — | △404 | — | — |
| 資本で直接認識された所有者との取引合計 | — | 129 | 63,973 | △180,932 | △151 | — |
| 2016年12月31日残高 | 103,001 | 177,032 | △93,137 | 970,922 | 1,975 | 134,119 |

| | | | | | | |
|---------------------|---------|---------|----------|-----------|-------|---------|
| 2017年4月1日残高 | 103,001 | 177,091 | △138,207 | 1,013,923 | 1,784 | 99,590 |
| 四半期包括利益 | | | | | | |
| 四半期純利益 | — | — | — | 142,614 | — | — |
| その他の包括利益 | — | — | — | — | — | 86,307 |
| 四半期包括利益合計 | — | — | — | 142,614 | — | 86,307 |
| 資本で直接認識された所有者との取引 | | | | | | |
| 自己株式の取得 | — | — | △70,712 | — | — | — |
| 自己株式の処分 | — | △159 | 724 | △302 | △263 | — |
| 自己株式の消却 | — | — | 132,150 | △132,150 | — | — |
| 配当金 | — | — | — | △71,634 | — | — |
| 株式報酬取引 | — | 284 | — | — | — | — |
| 振替 | — | — | — | 2,780 | — | — |
| 資本で直接認識された所有者との取引合計 | — | 125 | 62,163 | △201,306 | △263 | — |
| 2017年12月31日残高 | 103,001 | 177,217 | △76,045 | 955,231 | 1,521 | 185,897 |

(単位：百万円)

| | 親会社の所有者に帰属する持分 | | | | 資本合計 |
|-------------------------|--------------------------|------------------|---------|-----------|-----------|
| | その他の資本の構成要素 | | | 合計 | |
| | 売却可能金融 資産の公正価 値の変動 | 確定給付制度 に係る再測定 | 合計 | | |
| 2016年4月1日残高 | 29,103 | — | 163,363 | 1,259,209 | 1,259,209 |
| 四半期包括利益 | | | | | |
| 四半期純利益 | — | — | — | 178,800 | 178,800 |
| その他の包括利益 | △9,461 | △404 | △7,881 | △7,881 | △7,881 |
| 四半期包括利益合計 | △9,461 | △404 | △7,881 | 170,919 | 170,919 |
| 資本で直接認識された所有者 との取引 | | | | | |
| 自己株式の取得 | — | — | — | △46,665 | △46,665 |
| 自己株式の処分 | — | — | △151 | 1 | 1 |
| 自己株式の消却 | — | — | — | — | — |
| 配当金 | — | — | — | △70,119 | △70,119 |
| 株式報酬取引 | — | — | — | 207 | 207 |
| 振替 | — | 404 | 404 | — | — |
| 資本で直接認識された所有者 との取引合計 | — | 404 | 253 | △116,576 | △116,576 |
| 2016年12月31日残高 | 19,642 | — | 155,735 | 1,313,552 | 1,313,552 |

| | | | | | |
|-------------------------|--------|--------|---------|-----------|-----------|
| 2017年4月1日残高 | 14,629 | — | 116,002 | 1,271,810 | 1,271,810 |
| 四半期包括利益 | | | | | |
| 四半期純利益 | — | — | — | 142,614 | 142,614 |
| その他の包括利益 | 5,414 | 2,780 | 94,501 | 94,501 | 94,501 |
| 四半期包括利益合計 | 5,414 | 2,780 | 94,501 | 237,115 | 237,115 |
| 資本で直接認識された所有者 との取引 | | | | | |
| 自己株式の取得 | — | — | — | △70,712 | △70,712 |
| 自己株式の処分 | — | — | △263 | 0 | 0 |
| 自己株式の消却 | — | — | — | — | — |
| 配当金 | — | — | — | △71,634 | △71,634 |
| 株式報酬取引 | — | — | — | 284 | 284 |
| 振替 | — | △2,780 | △2,780 | — | — |
| 資本で直接認識された所有者 との取引合計 | — | △2,780 | △3,043 | △142,061 | △142,061 |
| 2017年12月31日残高 | 20,043 | — | 207,460 | 1,366,864 | 1,366,864 |

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日) |
|--------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税引前四半期利益 | 243,898 | 184,605 |
| 減価償却費及び無形資産償却費 | 47,485 | 48,354 |
| 減損損失及びその戻入益 | 10,145 | 37,264 |
| 金融収益及び金融費用 | △12,610 | △4,852 |
| 棚卸資産の増減額 | △1,092 | 46,440 |
| 売上債権及びその他の債権の増減額 | △26,235 | △20,206 |
| 仕入債務及びその他の債務の増減額 | △6,698 | △51,755 |
| その他の調整 | △15,829 | 26,738 |
| 営業活動から生じたキャッシュ・フロー | 239,065 | 266,588 |
| 法人所得税の支払額 | △52,661 | △51,248 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 186,403 | 215,340 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △21,136 | △19,426 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 645 | 420 |
| 無形資産の取得による支出 | △15,241 | △9,268 |
| 売却可能金融資産の取得による支出 | △476 | △698 |
| 売却可能金融資産の売却による収入 | 17,503 | 6,959 |
| 子会社株式の取得による支出 | △50,915 | △61,567 |
| 利息及び配当金の受取額 | 1,289 | 1,294 |
| その他 | △2,458 | △11,547 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △70,790 | △93,832 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 自己株式の取得による支出 | △46,665 | △70,712 |
| 親会社の所有者への配当金の支払額 | △70,119 | △71,634 |
| その他 | △3,429 | △752 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △120,213 | △143,097 |
| 為替レート変動による影響 | △6,771 | 12,348 |
| 現金及び現金同等物の純増減額 | △11,370 | △9,240 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 360,030 | 340,923 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 348,660 | 331,683 |

(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。

(企業結合)

当第3四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)

ガニメド ファーマシューティカルズ AGの取得

契約一時金及びマイルストーンを支払対価とする株式取得により、ガニメド ファーマシューティカルズ AGは2016年12月20日に当社の連結子会社となっています。

当第3四半期連結累計期間において、当該企業結合における取得日現在の取得資産及び引受負債の公正価値の測定に関して、新たな事実が判明し追加的な分析を行ったため、下記のとおり、一部の取得資産及び引受負債の暫定的な公正価値を修正しています。

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度末の 暫定的な公正価値 | その後の修正 | 修正後の公正価値 |
|-------------------------|-----------------------|--------|----------|
| 有形固定資産 | 272 | — | 272 |
| その他の無形資産 | 86,033 | — | 86,033 |
| 現金及び現金同等物 | 629 | — | 629 |
| その他の資産 | 1,103 | — | 1,103 |
| 繰延税金負債 | △25,806 | 6,954 | △18,852 |
| その他の負債 | △5,066 | — | △5,066 |
| 取得資産及び引受負債の公正価値 (純額) | 57,164 | 6,954 | 64,118 |
| のれん | 23,313 | △6,954 | 16,360 |
| 合計 | 80,478 | — | 80,478 |
| 現金 | 51,544 | — | 51,544 |
| 条件付対価 | 28,934 | — | 28,934 |
| 支払対価の公正価値の合計 | 80,478 | — | 80,478 |

前連結会計年度では一部の金額については暫定的な公正価値となっていました。当第3四半期連結会計期間においては支払対価の配分が完了しています。これに伴い、前連結会計年度の要約四半期連結財政状態計算書を遡及修正しています。その結果、前連結会計年度ののれん及び繰延税金負債がそれぞれ6,829百万円減少しています。

オジェダ SAの取得

(1) 企業結合の概要

① 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称：オジェダ SA

事業の内容：Gタンパク質共役受容体(GPCR)を標的とする低分子薬の開発

② 取得日

2017年5月16日

③ 取得した議決権付資本持分の割合

100%

④ 被取得企業の支配の獲得方法

契約一時金及びマイルストーンを支払対価とする株式取得

⑤ 企業結合を行った主な理由

オジェダ SAは、1994年に設立された医薬品企業であり、低分子のGPCR創薬の研究開発に注力しています。同社は、臨床開発段階にあるfezolinetantのほか、前臨床段階に、炎症、自己免疫疾患を含む複数の疾患を対象とした低分子化合物を複数有しています。本買収により、臨床開発段階のパイプラインを拡充し、中長期の成長をより盤石なものとしていきます。

(2) 取得日現在における取得資産、引受負債及び支払対価の公正価値

| | 金額 (単位: 百万円) |
|----------------------|--------------|
| 有形固定資産 | 560 |
| その他の無形資産 | 74,415 |
| 現金及び現金同等物 | 519 |
| その他の資産 | 513 |
| 繰延税金負債 | △25,256 |
| その他の負債 | △1,883 |
| 取得資産及び引受負債の公正価値 (純額) | 48,868 |
| のれん | 26,145 |
| 合計 | 75,014 |
| | |
| 現金 | 62,086 |
| 条件付対価 | 12,928 |
| 支払対価の公正価値の合計 | 75,014 |

上記のうち、一部の金額については取得対価の配分が完了していないため、現時点で入手可能な合理的情報に基づき算定された暫定的な公正価値となっています。

また、のれんの主な内容は、個別に認識要件を満たさない、取得から生じることが期待される既存事業とのシナジー効果及び超過収益力です。

(3) 条件付対価

条件付対価は、オジェダ SAが保有している臨床開発プログラムfezolinetantの開発の進捗に応じて支払うマイルストーンであり、最大で300百万ユーロ (40,482百万円) を支払う可能性があります。条件付対価の公正価値は、当該プログラムが成功する可能性や貨幣の時間価値を考慮して計算しています。

(4) キャッシュ・フロー情報

| | 金額 (単位: 百万円) |
|---------------------|--------------|
| 支払対価の公正価値の合計 | 75,014 |
| 支払対価に含まれる条件付対価の公正価値 | △12,928 |
| 被取得企業が保有する現金及び現金同等物 | △519 |
| 子会社株式の取得による支出 | 61,567 |

(5) 取得関連費用

金額: 60百万円

取得関連費用が認識されている要約四半期連結純損益計算書の表示科目: 販売費及び一般管理費

(6) 要約四半期連結純損益計算書に与える影響

- ① 当第3四半期連結累計期間の要約四半期連結純損益計算書で認識されている取得日以降の被取得企業の税引前四半期利益

金額的重要性が低いため、記載を省略しています。

- ② 企業結合が期首に実施されたと仮定した場合の当第3四半期連結累計期間の要約四半期連結純損益計算書の税引前四半期利益に与える影響額 (非監査情報)

金額的重要性が低いため、記載を省略しています。

(重要な後発事象)

マイトブリッジ Inc. の取得

(1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称：マイトブリッジ Inc.

事業の内容：ミトコンドリア関連疾患領域における研究開発

(2) 取得日

2018年1月23日

(3) 議決権付資本持分の割合

買収前に当社が保有していた議決権付資本持分の割合は26.4%でしたが、本買収により100%となります。

(4) 被取得企業の支配の獲得方法

契約一時金及びマイルストーンを支払対価とする株式取得

・契約一時金 162百万米ドル（被取得企業の保有現預金等の状況により支払対価の調整が行われます。）

・マイルストーン 複数の開発プログラムの進捗に応じて最大165百万米ドル

(5) 企業結合を行った主な理由

マイトブリッジ Inc. は、2011年に設立されたバイオテクノロジー企業であり、ミトコンドリア関連疾患領域において、中枢および末梢神経系障害、骨格筋・心筋障害、視覚・聴覚障害、代謝障害などの治療薬の創出を目指し研究開発を進めています。本買収により、ミトコンドリア関連疾患における研究開発をさらに加速し、一日も早く患者さんのもとへ革新的な新薬を届けていくために取り組んでいきます。

当該企業結合の当初の会計処理が完了していないため、会計処理に関する詳細な情報は開示していません。